



会員数 19人

北九州プロバスケットボールクラブ月報

つながり

No. 227
令和7年5月号
2025. 5. 20

4月卓話

華麗なるマジックショー

定番の旗がスティック状のものに変わったり、1本だった花がどんどん増えて行ったり、花がスタンドに出現したり…魔法ではなく、科学実験でもなく、イリュージョンなのは解っているけれど…うわ～どうして、とすっかり騙されている自分にちょっと腹が立ちました。



「不思議な新聞紙」は種明かしをしていただきましたが、イヤイヤだからって、それ以外も○▽■あるんじゃない？と、まんまとマジシャンの罠にはまってしまいました。



「お寿司をどうぞ」は、古賀会員が二重のトリックに挑みました。近くで見ると見破ることができましたか？ 実はよく注意してみていなかったのに…偶然当たっちゃったそうです(笑) それもすごい！

「曲がりまスプーン」は山下(静)会員が参加しましたが、どうして？という顔で着座。私も今だ未消化状態です。簡単だけど恐ろしいと言われた「太郎さんゲーム」はやはり意地悪でした。その他、ロープ、パラソル、チューブ、ステッキなど、次から次に繰りだされるマジックは、笑いネコの「猫山君」で締めくくられました。



ふと気が付くと口もとが緩んだ自分がいました。心から楽しい時間を過ごしていたからでしょう。本当にありがとうございました。(植田)

4月の例会報告

今月から新会場の湖月堂で開催です。みなさんも新鮮な気持ちで望まれているように見えます。体操は今月もお休み、眞鍋会員の回復を祈るのみです。誕生日は3名でしたが大川会員が欠席のため、京谷・植田両会員から思いのこもったスピーチがありました。昼食は和食となり、しめのぜんざいまで皆さんガッツリ食べられたようでした。

卓話は初の「マジックショー」です。下関市を中心に活躍されている中島賢士さんによる華麗なショーが始まり、フラワースタンドに色鮮やかな花が咲いたり、新聞紙に水を注いでも濡れてなかったり、スプーンを曲げたり、太郎さんゲームにロープマジックと続き、終わりはレインボーシリーズでジ・エンド。ところどころに種明かしを交えながら進みます。皆さん首をひねったり、頭を傾げたり、笑ったり、アーッという間に楽しい時間は過ぎてしまいました。ショートスピーチは山下博会員が欠席のため、残念ながらありませんでした。また、これまで検討を続けていた会則・細則が出来上がったので、全員に配布しました。

そして、終了後に役員選考委員会が開かれることを知らせて、松本会員のリードによりア・カペラでプロバスクラブの歌を歌って散会となりました。(内藤)

委員会報告

企画委員会

5月6日 6名出席

リーセントホテルで17時30分から開催。6月例会卓話は、いよいよハンドベルの演奏会です。世界で活躍するソロミュージシャン石井のり子さんが講師で、ハンドベルで繋ぐ国際交流のお話をするほか、春夏秋冬それぞれの歌などを演奏してくれます。「会員の皆さん全員にハンドベルの体験をしていただきます」とも話しており、こちらの方も楽しみにしておいてください。

7月例会卓話は例年、総会が開かれるため30分間の会員卓話となっています。今年は管理栄養士でもある山下静江会員が登場、「健やかな高齢期を目指して～低体重に注意～」のタイトルでお話していただきます。(松本)

交流委員会

5月13日 6人出席

湖月堂で17時30分から開催しました。5月29日、交流委員会企画の若松区グリーンパーク・バラ園行きスケジュール、出席者数、集合時間などをみんなで確認しました。

続いて次年度の交流委員会の課題や今年度の反省なども話し合いました。そして、食事をしながらもろもろの話に花が咲き、楽しい時間を過ごして散会しました。(柴村)

広報委員会

5月5日 3名出席

風薫る五月晴れのこどもの日、12時30分からホテルテトラ北九州で開催。男性が欠席でとても寂しいのですが、会場のホテルは若い旅行者たちのチェック・インでおお忙し。昼食のお膳を囲み、談笑しながらガッツリいただいて会議に入りました。

まずはつながり6月号の編集会議です。同好会活動が二つだけ、うーん、記事が足りない。いえ、コンサートが二つありますとの情報、とてもありがたい!戸畑区夜宮のナンジャモンジャ通りの花が見事だったので、これも記事にと提案、これでなんとか埋まりそう。続いて5月号の校正です。ゆったりと読みやすく、かつ間違いなくを心掛けて、念入りにチェックしました。そして、6月の委員会は第2週の9日に開催することを確認して散会しました。(内藤)

同好会活動報告

ワインを楽しむ会

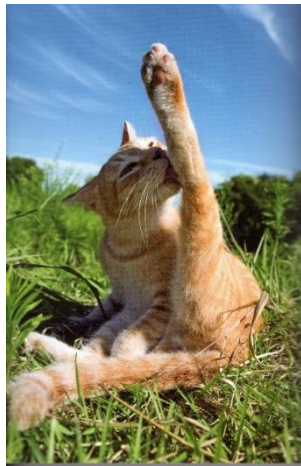
4月20日午後6時から、ブラッスリーリップで開催した。8名の参加。最近は会員の高齢化と相俟って開催直前まで参加者の確定が非常に難しくなっているが、長いお付き合いである会場のリップのマスターのご理解があって大変助かっている。



まずは2023年白のフランスワインにリップのサラダオードブルで爽やかな香りとちょっと贅沢な前菜で雰囲気づくり。次のイタリアの辛口赤ワインは長く余韻の残る上品な味わいで、最後はフランスボイヤックの少し贅沢な赤フルボディで締め括った。

料理もワインに並行して美味であった。参加者が少なかったがそれを払拭するほどの会話で会を楽しんだ。(古賀)

のびをして
猫夏雲にとどろかな
のら子



猫俳句

歌をうたう会

4月25日午後3時から、西小倉市民センターでレッスンを行った。直前に見学者が1名おられますとの連絡があった。ソプラノの柴村会員が欠席なので、途中から一緒に歌ってもらうことにした。

レッスンは息の使い方、口の中の部位の刺激となるものから始めた。高野辰之作詞、岡野貞一作曲、源田俊一郎編曲「故郷」の楽譜が配布され、今まで練習した「ふるさとの四季」と合わせて全12曲通しで歌い、出来の良くない箇所を中心に指導いただき、最後は立位で全曲を歌い終了した。見学されていた方から、今月から入会させてほしいと申し出があり、この会も久しぶりの新顔の参加で、次回からが楽しみである。(古賀)

歴史文学講座

史学博士廣崎篤夫先生を講師に、4月22日10時から松本清張記念館でゲスト2人を含め8名の参加で開催しました。テーマは「筑前の名族・宗像大宮司家と山田館の惨劇」でした。

紀元800年の宗像神宮初代大宮司は、宇多天皇の王子・清氏親王だったこと、1336年の多々良川合戦(福岡)では、足利尊氏に味方し後醍醐天皇側の大軍を破ったこと、1552年に宗像大宮司家の家督相続争いで菊姫とその母が惨殺されたことなど、当時の社会情勢を交えて話されました。次回は6月24日午前10時から清張記念館です。テーマは「塩塚城攻防戦・蒲池一族殲滅戦」です。聴講を歓迎いたします。(松本)



家の近くの平和公園の桜が満開。青空に誘われ出かけてみた。子連れの家族仲間がバーベキューをしている。父と子でキャッチボールやバトミントンをしている。ブルーシートを広げた男の子がふたり、パンとコーヒーで向かいあっている。

入口付近に梅が枝餅の屋台がある。初老(失礼)の三人組女子が「3つ下さい」と買い求めていた。主人も大好物で公園に行つては買ってきて、孫たちを喜ばせていた。お供えにと思ったが財布を忘れていたことに気づく。

仲良く夫婦がカメラを片手に散策している。新しいランドセルを背中に、スーツを決めた小さな紳士が桜の前で輝いていた。私も家族とバーベキューしたものだ。そんな風景を眺めながら、ひとり花見をしました。

4月のお誕生日 おめでとうございます (敬称略)



京 谷 隆 (4 日)

植田佐世子 (29 日)

大川力(4 日)さんは
残念ながら欠席でした

ありがとうBOX メッセージ 4 月分 (入会順、敬称略)

★感謝です(遠藤) ★新会場。お世話大変でした。会員の意見も聞いてください(古賀) ★思わず川柳が出展されました(吉田秀子) ★(松本) ★(植田) ★若い頃ランプであそんでいました(吉田信雄) ★新しい会場になり、また改めて始まります(柴村) ★今日のマジックはとても楽しかったです(藤原)

収支報告	令和7年3月末残高	55,989円
	令和7年4月分	4,500円
	令和7年4月末残高	60,489円